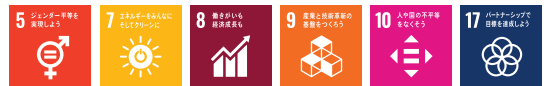


## 2 取組の方向性

### 指針1 中小企業の経営力強化と起業の促進



#### 【方向性① 経営基盤の強化】

##### ●相談機能の充実と情報発信の強化

事業者の多様化する経営課題に適切に対応するため、としまビジネスサポートセンター\*（以下、としまビジサポ）連携機関の強みを活かした専門相談員や社会保険労務士、税理士、ビジネスコーディネーターによるワンストップ相談に加え、各種専門機関の紹介や専門家相談料の補助を行い、最も身近な相談役として相談機能の充実を図ります。

また、令和5（2023）年にリニューアルしたとしまビジサポホームページやSNS\*等を活用したプル型・プッシュ型周知を実施し、としまビジサポの支援制度の効果的な周知や区内事業者の新事業・新商品PRの支援、DX推進に資する専門家派遣制度や相談窓口の紹介など、情報発信を強化していきます。

##### ●資金調達の円滑化

起業希望者や事業者が必要な資金を低利で受けられるよう、区が融資のあっせんや利子の一部補助を行います。それに加えて、新時代に対応した区独自補助金制度（DXの推進、見本市・商談の出展料補助、販路拡大支援、専門家への相談補助、人材育成支援等）を創設し、利用促進を図ります。

また、Web予約や希望者への訪問相談・オンライン相談の導入とともに、庁内で検討を進めている電子契約・請求の動きと合わせて申請手続きのデジタル化を図り、事業者の利便性向上に努めます。

さらに、事業者のニーズに合った資金調達の一助となるよう、としまビジサポホームページ等で国・東京都・関係団体等の各種補助金の情報提供等を行います。

#### 【方向性② 多角的なビジネス支援】

##### ●販路拡大に向けたサポート

事業者にとって最大の経営課題である販路拡大を支援するため、SNSの活用など、時流に合った販路拡大・マーケティングに関するセミナーや相談会の開催、連携機関との協働による個別相談を実施します。さらに、ファーマーズマーケットや協力企業でのテストマーケティングの場の提供、それに合わせた出店サポート相談、としまMONOづくりメッセ等による異業種交流によるコラボレーション・マッチング支援を継続していきます。

また、新たな取組として、区内優良事業者の商品やサービスをふるさと納税の返礼品としてPRすることで、販路拡大を支援します。



としまMONOづくりメッセ

## ●SDGs達成に向けた取組支援

区内事業者の約3割がSDGsを理解していない実態があることから、事例紹介やセミナー等の情報提供を行い、事業者がSDGsに取り組む意義やメリットを普及啓発し、SDGsへの理解向上を図ります。ホームページ等でSDGsの取組の好事例・モデル事業者のPRを行い、公民が一体となってSDGs達成に向けた取組を推進します。

また、世界的なGXへの動きに対応し、「2050年カーボンニュートラル」が実現できるよう、東京都や庁内関係部署と連携し、補助金・税制優遇制度や診断ツールの提供などの各種支援策について、メールマガジンやとしまビジサポホームページ等を活用して事業者への情報発信を強化します。

## 【方向性③ あらゆる人材へのスタートアップ支援】

### ●多様な人材への起業支援

起業希望者が抱える課題は、性別や年齢、起業準備レベルによって多岐にわたり対応策が異なることから、個別起業相談、セミナー、チャレンジ出店等の準備段階に応じたきめ細やかなサポートを継続します。

今後は、女性のための起業支援を継続するとともに、庁内関係部署と連携した広報や、イベント開催を通じた子育て世代やアクティブシニア\*への働きかけ、学生を対象としたビジネスコンテストや意見交換会の開催による学生起業家の支援を行い、新たな潜在起業家を発掘します。また、外国人起業家は言葉の壁による起業に関する手続きの困難さ、文化や風習の違いによるトラブル等の特有の課題があります。庁内の多文化共生推進担当部署と連携し、外国人起業家の課題やニーズ分析を進め、必要な支援を検討していきます。



女性相談窓口

### ●起業支援施設や人的ネットワークを活用した新ビジネスの創出

安価に利用できるシェアデスク\*方式のレンタルオフィスであるとしまスタートアップオフィスを活用し、起業時の大きな課題であるハード面への支援を継続します。

また、近隣区と合同の起業家交流会や、民間の起業支援事業者と連携した起業家交流会の開催、区内産業団体が行うネットワーク支援への協力など、ソフト面での支援の充実を図り地域全体で起業家を下支えすることで、豊島区に愛着を持つ地域密着型の起業家を増やします。



としまスタートアップオフィス